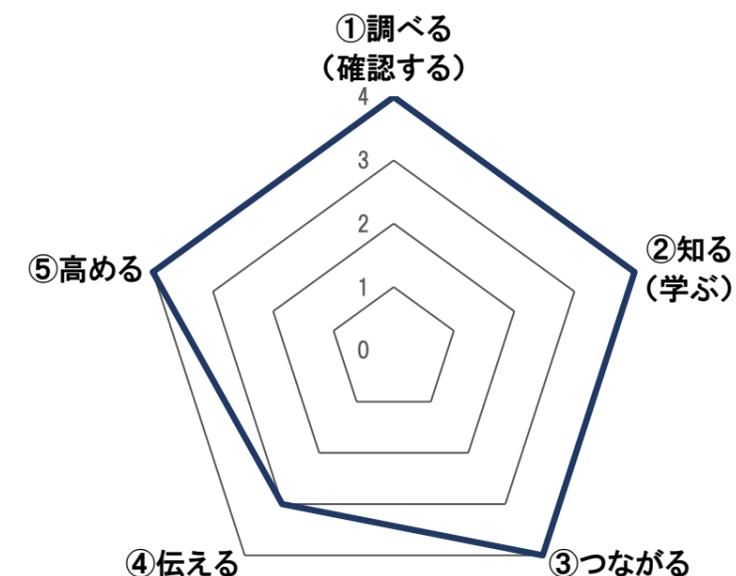


登別小学校区

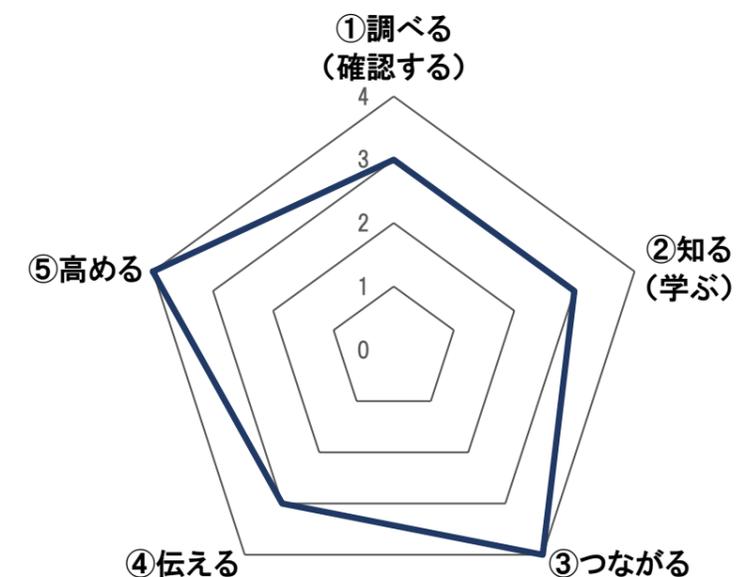
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	年4回の校区委員会の開催により、校区活動の方向性を細やかに確認しながら今後に向けた検討を図ることができた。	4	校区活動の方向性を確認し合い、今後も活動実施を図っていく。
②知る (学ぶ)	温泉地区の高齢世帯へ買い物に関するヒアリングを行い、地域の実情を知ることができた。	4	地域の実情把握を行いながら、モデル事業の実施にも役立てていく。
③つながる	買物支援のモデル事業実施に向け、関係機関も交えて話し合いの場を持つことができた。	4	モデル事業の実施に向け、より関係機関との連携・協議を図っていく。
④伝える	今後も校区きずな活動の取り組みや方向性を広く地域に伝えていく必要がある。	3	地域住民や関係機関に広くきずな活動の実情や目的を伝えていく。
⑤高める	買物支援モデル事業の実施に向け、具体的な話し合いを持つことができ、校区委員会としての機運が高まった。	4	より良い校区活動の推進に向け、今後も検討を重ねていく。



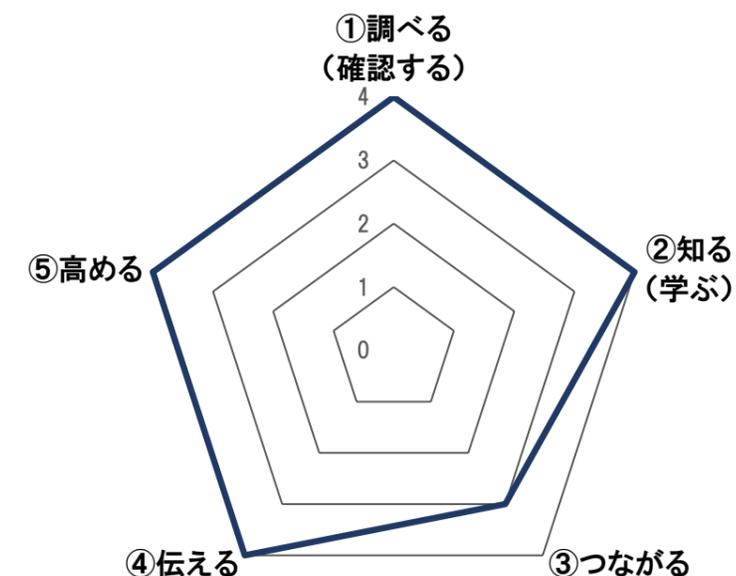
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動は校区内14町内会で取り組まれている。	3	それぞれの町内会によって地域特性が異なるが、必要に応じ活用できるよう働き掛けていく。
②知る (学ぶ)	日頃の実践を通し、学びを深めることができた。	3	より良い活動推進に向けた学びの機会を設けていく。
③つながる	小地域ネットワーク活動や、各町内会での訪問・見守り活動によって、地域につながりが生まれている。	4	今後も推進していく。
④伝える	日頃の実践を通し、きずなを伝えることができた。	3	今後も必要な世帯で活用できるよう伝えていく。
⑤高める	小地域ネットワーク活動の推進により、日頃からの備えや見守り体制の強化を図ることができた。	4	今後も継続していく。



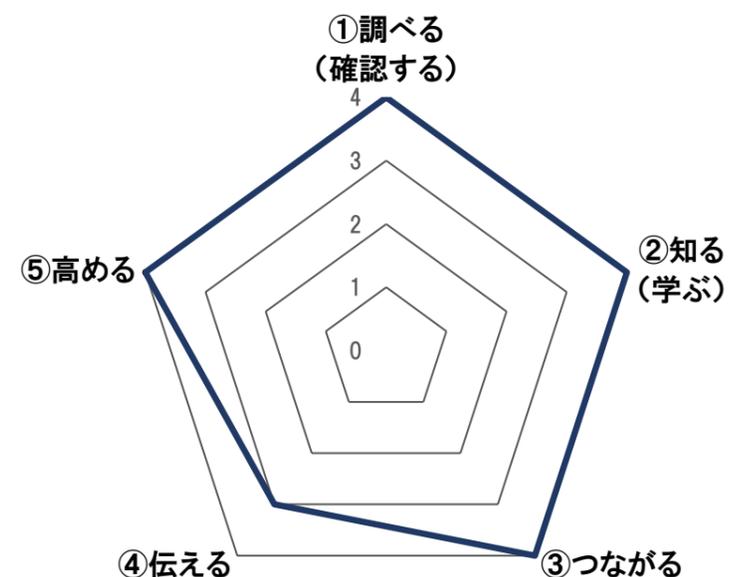
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	安定したサロン活動が実施されている。会食会も14町内会で実施され、地域の実情把握の場となった。	4	今後も活動を継続しつつ、より充実した実施を目指す。
②知る (学ぶ)	サロンサポーター連絡会等の実施により、サロン運営者が学びを深める機会を設けることができ、より良いサロン活動展開につながった。	4	今後も活動を継続しつつ、より充実した実施を目指す。
③つながる	地域包括支援センター等専門職の参加もあり、関係機関とのつながりが生まれている。	3	より良い活動展開のため、今後も関係機関との連携を図っていく。
④伝える	会食会では、共同募金配分金による助成であることを周知し、地域の居場所づくりやつながりづくりの必要性も伝えることができた。	4	今後も周知を図っていく。
⑤高める	サロンや会食会等の地域の居場所の必要性が認知され、地域に定着してきている。	4	今後も活動を継続しつつ、より充実した実施を目指す。



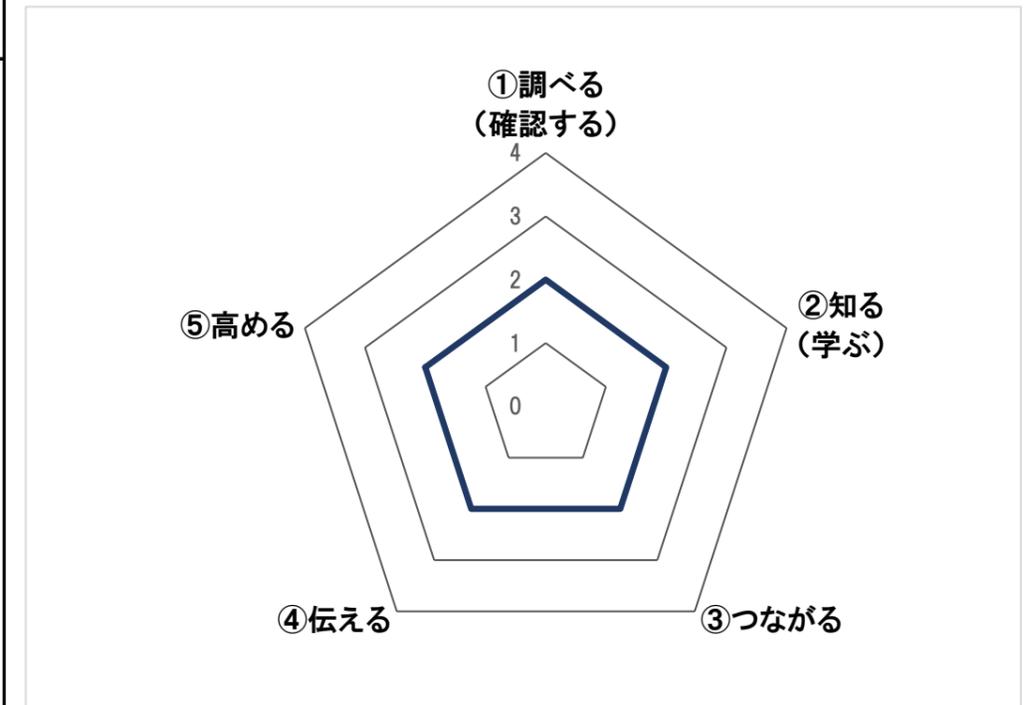
生活環境の整備(空家の有効活用、除雪やゴミ出し等ちょっとしたことの支援)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	鍵預かりサービス事業が実施できた。(利用登録者数5名、事業協力員51名)生活支援の部分では、買い物支援事業実施に向け検討を進めることができた。	4	鍵預かりサービス事業は引き続き継続し、買い物支援のモデル事業実施に向け検討を進める。
②知る (学ぶ)	温泉地区連のご協力の元、高齢世帯へ買い物に関するヒアリングを行い、地域の実情を把握することができた。	4	地域の実情に合う事業展開を目指していく。
③つながる	緑風園や登別商店会とも意見交換や事業検討の機会を設けることができた。	4	モデル事業の実施に向け、より関係機関との連携・協議を図っていく。
④伝える	買い物支援のモデル事業実施に向け、説明会等の機会を通し今後校区全体に趣旨を伝えていく必要がある。	3	モデル事業実施に向け、住民や関係機関にも広く実施の趣旨やきずな活動の実情を伝えていく。
⑤高める	買い物支援のモデル事業実施に向け、具体的な検討を進めることができ、校区内での機運を高めることができた。	4	モデル事業実施に向け校区全体で一丸となり進めていく。



人材育成(お茶の間会議の実施)

評価指標	内容	点数	2020年度に向けて
①調べる (確認する)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となったが、生徒が福祉に関心を持ち自分の地域について考える機会となっている。	2	生徒達が福祉の視点に触れるきっかけとなり、また、地域住民にとっても若い世代と関わる貴重な機会となっている。 学校側からも実施に理解と賛同をもらい、連携して行っていることは登別小学校区の特徴であると言える。 今後も地域が豊かになる多世代の学びと交流の機会として実施する。
②知る (学ぶ)	多世代が集い自分の暮らす地域について改めて知ることのできる機会となっている。	2	
③つながる	登別中学校にも実施の意図に理解をもらうことができおり、学校との関係性構築の機会となっている。	2	
④伝える	校区の地域福祉活動について、同じ住民の立場から伝えることのできる機会となっている。	2	
⑤高める	参加住民も生徒達も互いの考えや発想に触れ、高め合うことのできる機会になっている。	2	



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田畑 恒義
サブリーダー	桶屋 純一
サブリーダー	伊藤 芳雄
きずな推進委員	日野 安信
きずな推進委員	中川 信市

きずな推進委員	畠山 基子
きずな推進委員	吉岡 政美
きずな推進委員	成田 光男
きずな推進委員	田代 健二
きずな推進委員	勝間 広靖

きずな推進委員	須賀 武郎
きずな推進委員	飯島 武
きずな推進委員	和田 卓士
きずな推進委員	太田 憲明

1. 校区活動

日にち	名称	人数	内容
5月30日	第1回登別小学校校区きずな推進委員会	7名	1)昨年度の校区きずな計画評価について 2)今後の予定について 3)その他
6月13日	第2回登別小学校校区きずな推進委員会	6名	1)昨年度の校区きずな計画の評価案について 2)今年度の校区きずな計画(3期4年目)の実施内容について
9月17日	第3回登別小学校校区きずな推進委員会	6名	1)買い物支援の事業実施に向けた検討 2)その他
1月30日	第4回登別小学校校区きずな推進委員会	10名	1)買い物に関するアンケート結果の共有 2)買い物支援の事業実施に向けた検討 3)お茶の間会議in登別中学校(登別小学校区住民座談会)について
3月16日	お茶の間会議in登別中学校	—	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

登別温泉地区連合町内会	中登別町内会
登別東町一町会	登別東町2町会
登別東町第三町会	登別東町第4町会
登別東町第五町会	登別本町会
登別本町2町会	登別東町団地町内会

実施率 82.4% (14 / 17)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

みどり会	登別東町2町会いきいきサロン
登別東町第三町会ふれあいサロン	登別東町第5町会ふれあいサロン
ふれあいサロン花園	

ふれあい会食会

登別温泉地区連合町内会	新登別町内会
中登別町内会	登別東町一町会
登別東町2町会	登別東町第三町会
登別東町第4町会	登別東町第五町会
登別本町会	登別本町2町会

実施率 82.4% (14 / 17)